

目標まであと415点。

2. トピックス…文化賞の1次2次選考に文化賞受賞者16人が参加

3. お知らせ……今後の予定

4. 自費出版事情 ……～アドバイザー便り～No.2



□□ _____ □□

1. ニュース…文化賞の応募よろしく。
目標まであと415点。

□□ _____ □□

昨年の第20回日本自費出版文化賞の応募総数は566点で、
その前の19回が512点ですから54点増やしました。
皆さまのご協力の賜物ですね。

第21回日本自費出版文化賞の募集締切まであと1ヵ月間です。
目標は600点超えですが、現在入金済みの応募件数は185点。

目標まであと415点…ちょっと頑張って集めましょう!

旭川のあいわプリントの渡辺社長から「あさひかわ新聞」(2/13)
に募集記事が掲載されたと、一報がありました(添付)。

嬉しいですね。

皆様からの応募をお待ちしております!

□□ _____ □□

2. トピックス…文化賞の1次2次選考に文化賞受賞者16人が参加

□□ _____ □□

文化賞の1次2次選考委員に、各部門賞・特別賞の受賞者に
参加依頼をお願いしましたところ、以下のような結果になりました。

依頼は、生年1945年以降の部門賞と特別賞の受賞者計30人。
内27人から返事があり、16人にご承諾いただきました。
辞退の方11人は、ほとんどが病気か多忙が理由でした。

部門別人数は以下の通りです。

(地域文化部門)	2人
(個人誌部門)	3人
(小説部門)	1人
(エッセー部門)	2人

(詩歌部門) 3人
(研究・評論部門) 3人 (内1人は古代史関連部門希望)
(グラフィック部門) 1人

選考にも新しい風が吹きそうで、楽しみです。

□□ _____ □□

3. お知らせ…今後の予定
(来期の準備・文化賞準備・アドバイザー試験準備・広島大会)

□□ _____ □□

- ①3月17日(土) 在京運営作業チーム会議(来期活動計画等理事会たたき台検討)
- ②3月中に来期活動計画案・予算案の提案、今期報告・決算案を理事に送付・検討
- ③3月31日(土) 第21回日本自費出版文化賞応募の締切
- ④4月初旬ごろから2018年第15回認定自費出版アドバイザー試験の準備と募集
- ⑤4月14日(土) 理事会開催
- ⑥4月中旬ごろから第21回日本自費出版文化賞1次選考開始
- ⑦4月25日(水) までに総会資料と参加・委任の返信はがきを送付
- ⑧5月2日(水) 会計監査
- ⑨5月18日(金) 広島大会(総会、全国交流会研修、アドバイザー研修、情報交換交流会)
- ⑩5月中旬 新ホームページ開設

全国大会に向けて、関係者の皆さまどうぞよろしく願いいたします。

□□ _____ □□

4. 自費出版事情 … ～アドバイザー便り～No.2

□□ _____ □□

第3回自費出版アドバイザー 認定番号No.29
共同プリント株式会社
(京阪奈情報教育出版) 住田 幸一

自費出版したい人との出会いを増やすには…

「地元書店とのつながりを大切に、

自費出版文化賞の受賞作品展示で著者との交流を」

奈良市内を中心に駅前6店舗を展開し、奈良市に住む人なら誰もが知る書店さんとの企画で、「読もう！やろう！」を合言葉にした「よもや一ろ」というイベントの運営に参加している。

新刊の著者トークショーやサイン会、絵本の読み聞かせなどの書籍関連イベントや、書店内展示スペースでのパネル展など活動はさまざま。

そんな中、このたび自費出版文化賞の入賞作品・歴代大賞作品の貸出しを受け、啓林堂書店奈良店（近鉄奈良駅前）さんにて、3月17日（土）・18日（日）の2日間、自費出版展開催の運びとなった。

実は、2年前に「絵双六～その起源と文化」で大賞を受賞したのがきっかけで、著者による講演会などとあわせて開催して以来、今回は「絵巻物『雀の発心』」の入選記念として2度目の開催となる。

書店での自費出版展開催は自費出版のレベルの高さを書店員さんたちに知ってもらうことができたという点でも収穫があった。その後、定期的な出版相談コーナー開設に繋がるきっかけにもなった。自費出版展で開催する相談コーナーには原稿を持ち込んで来る方も多く関心の高さを毎回感じている。

文化賞の作品貸出しによる自費出版展を地方でも開催し、出版を目指す方に受賞作品を手にとってもらえる機会を増やすのもアドバイザーとしてのひとつの役割ではないかと思えます。

さらなる自費出版との出会いを期待して…

★あしがき

新企画「自費出版事情～アドバイザー便り」のバトンが繋がりました！住田さん、素敵なお話をありがとうございました。

ちょっとご無理なお願いかなっとも思いましたが、こうして貴重なお話が聞けて嬉しい限りです。

さて、次のバトンは誰に…お楽しみに！
「チーム自費出版」を一緒に盛り上げましょう。

3月の異称に弥生、そして夢見月というのがあります。桜の別名を夢見草、旧暦3月は桜の咲く頃だったので、そこから夢見月とも呼ばれるようになったそうです。

3月は卒業、異動の季節。
別れの季節でもあります。

別れることはつらいけど～♪
そこには、次の新しい出会いがあり始まりがあるはず。

日に日に暖かくなり、春を迎える喜びを感じ、私たちもワクワクした新しい夢を見ることができそうですね。

最後までお読みいただき、ありがとうございました。

お気づきの点、掲載情報、はたまた私への激励のお言葉がございましたら
yumi@maruwanet.co.jp まで、お願いいたします。